

ともに生きる

命・生き方

小学校高学年

中学校

高校

学級活動

道徳

NHKスペシャル

49分

ばっちゃん

～子どもたちが立ち直る居場所～

(2017年放送)

この番組の良さ



非行の根っこは空腹にある

非行に走る子供たちに寄り添い、広島市で30年以上、その立ち直りを支えてきた“ばっちゃん”こと、元保護司の中本忠子（ちかこ）さん。「非行の根っこには空腹がある」と確信した中本さんは、自宅を開放し、手料理を振る舞い、親身になって相談にのり、多くの少年少女を更生させてきました。番組では、子供たちが中本さんの作る食事を通して、人生を取り戻していく過程を知ることができます。

更生や支援のあり方について考える

平成28年度に刑法犯罪で検挙された少年少女は4万人弱。うち再犯者の割合は約36%と18年連続で増え、過去最高を記録しています。格差の拡大や深刻化する貧困、育児放棄、世の中に広がる不寛容の空気は、青少年の健全な育成や更生を難しくしています。番組は、少年犯罪の現状や更生のあり方、非行に走る子供たちを支援する側の苦勞について考えるきっかけとなります。

番組活用のポイント

ばっちゃんの子供たちを支える姿を通して

この番組は、中本さんが、子供たちに献身的に料理を作りながら相談にのる内容と、気にかけてきた少年“マコト”が、苦しみながらも更生していく内容の2つで構成されています。

中本さんの支援する様子は、特別の教科道徳の内容項目「B 主として人の関わりに関すること」、「7 親切、思いやり」を主な価値として学習することができます。よりよい人間関係を築く上で求められる基本姿勢として、相手に対する思いやりの心をもち親切にすることを、中本さんの姿から考えることができます。中本さんが、ご飯を食べに来たり電話をかけてきたりする子供たちに「えらかったえらかった」と声をかけてほめる様子は、一人一人を認め、肯定することにつながっています。そのような姿から、自分がどのように接し、対処することが相手のためになるのかを理解することができるでしょう。

更生にむけ努力するマコトの姿を通して

罪を犯し、知り合いが誰もいない土地で更生を目指すマコト。それを支えたのは、やはり“ばっちゃん”でした。

更生に向け努力するマコトの様子は、道徳の内容項目「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の新項目「4 よりよく生きる喜び」や、「A 主として自分自身に関すること」、「5 希望と勇気、努力と強い意志」などを主な価値として学習することができます。

中本さんの家や手作りの食事をかえがえのないものだと気づき、不安や自分の弱さと向き合い、働きながら保育士になる夢を持ち始めていく姿に着目させることで、自分を奮い立たせることが目指す生き方や誇りある生き方に近づけるといことや、よりよく生きる喜びを見いだすことの大切さについて考えさせることができます。